



令和 7 年度

運営に関する計画

【学校教育目標】

よく考える子

自他ともに生きる子

たくましい子

大阪市立 泉尾東小学校

令和 7 年 4 月

(様式 1)

大阪市立泉尾東小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

不登校児童は令和 3 年度 7 名から令和 5 年度 2 名と減少しているが、生活リズムの乱れなどにより遅刻が常習化している児童や、登校渋りのある児童も多い。“学校には居場所があり役割があり仲間がいる。学校はいじめや差別が許されない安全で安心な場所である。”という実感をもつことのできる取組を、多機関多職種連携により進めたい。

自己肯定感・自己有用間の低さが積年の課題である。道徳や学級活動のほか、たてわり班活動などの異学年交流の充実、地域や外部団体と連携した体験的な学習を通じて、自分も他者も尊重しようとする心情を育てたい。

令和 3 年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率の対全国比は、国語 0.83、算数 0.91 であった。「学力向上支援チーム事業（重点支援）」を効果的に活用し、指導力・基礎学力の向上を図りたい。また学習習慣を身につけ、自ら学ぼうとする態度を育てるため、朝学習や放課後学習支援といった場の設定を工夫したい。

よく体を動かす児童とそうでない児童に差がある。体育科の授業内のみならず、休み時間にも積極的に体を動かす取組が必要である。また、コロナ禍の収束とともに手洗いの習慣が疎かにならないよう、継続的な指導を行いたい。

一人一台端末が整備され、各学年、スマートスクール「心の天気」、相談機能やデジタルドリル「navima」の活用を進めてきた。学習者用端末をさらに有効に活用し、教育 DX の推進を図りたい。

教職員が「ゆとり」を実感し生き生きと働くことができるよう、実効性のある働き方改革をすすめたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 4 ~ 7 年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について肯定的に答える児童の割合を、令和 3 年度より増加させる。

- 令和 4 ~ 7 年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について肯定的に答える児童の割合を、令和 3 年度より増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 50% 以上にする。

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 70% 以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の 60% 以上にする。（ただし、学校行事等 I C T 活用が適さない日を除く）

- 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を、管理職を除き 100% にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、84.8%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、73.1%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を31.4%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を68.1%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（ただし、学校行事等ICT活用が適さない日を除く）R6:0.7%
- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を70%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立泉尾東小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、84.8%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、73.1%以上にする。	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 不登校・問題行動の未然防止や改善のため、気になる児童の共通理解や、スクールライフノートの相談機能の活用等の取組を進める。また、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門家や関係諸機関との更なる連携を図る。 指標 ・全教職員で児童理解を進めるため、生活指導連絡会を年間8回以上実施する。 ・S Cによる研修会を1回以上実施する。	進捗状況
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 「いじめ（いのち）について考える日」や「いじめアンケート」の実施により、いじめの未然防止、早期発見・解消に努める。 指標 ・「いじめ（いのち）について考える日」を年1回以上、いじめアンケートを年3回実施する。 ・各学級で年3回以上、いじめや差別を許さない学習を実施する。 ・あいさつや言葉遣いにかかる生活目標を年6回以上設定する。	
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 たてわり班活動をはじめとした異学年交流や、地域との交流の取組を通じて、自己肯定感・自己有用感の向上に努める。 指標 ・児童集会を可能な限り月2回以上集合して行い、異学年の交流を深める。 ・地域や外部団体と連携した体験的な学習を、すべての学年で年2回以上実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立泉尾東小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 31.4%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 68.1%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学力向上支援事業を活用した国語科の授業研究、始業前の反復学習、放課後学習支援、漢字検定（3年生以上で実施）に向けた取組等を通して、学習習慣を身につけ、基礎的基本的な学習内容の定着を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「朝学習」を週2回、放課後学習支援を週2回実施する。 ・漢字検定に向け計画的に学習を進め、受検学年で1回以上過去問題に取り組む。 ・管理職を除く全教員が年1回以上の研究授業を実施し、授業後の交流を図る。 	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>「みんな遊び」等、業間に運動場へ出て遊ぶ機会の設定や、持久走の取組等を通して、健やかな体の育成に努める。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20分休みに、「みんな遊び」を各学級で月1回以上実施する。 ・けがの防止のため、体育科の授業前に、柔軟性を高める運動を必ず実施する。 	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>規則正しい生活習慣を身につけ健康な学校生活を送ることができるよう、健康教育や食育の推進に取り組む。コロナ禍の収束とともに手洗いの意識が薄れることのないよう、継続的な取組を行う。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康な生活調べ週間」を学期に1回実施する。 ・「食に関する指導」を年2回以上実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立泉尾東小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く） R6:0.7% 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を70%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>児童の心の状態や日々の生活の状況を可視化し、いじめ・不登校などの未然防止および迅速な対応を図るため、スクールライフノートの活用を推進する。また、デジタルドリル等の効果的な活用により、個別最適な学びを推進する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 一日1回「心の天気」を入力する。 端末の活用率に反映される「学びのポータル」を開く活動を多く取り入れる。 学習者用端末の効果的な活用についての研修を、年1回以上実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>低・中・高学年のチーム体制を構築し、教職員が生き生きと働くことのできる環境を整備する。時間外勤務時間の減少はもとより、「ゆとり」を実感できる実効性のある働き方改革を進める。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆとりの日を週1回以上設定する。 学校閉学日を、長期休業期間中において年間5日以上設定する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	